

# すきなものをつくろう

単 元	かたちづくり	対象学年	1 年
ね ら い	色板を使って好きなものの形になるように考えて並べることで、色板の組み合わせ方によってさまざまな形になることに気付くことができる。		

## 1 準備するもの

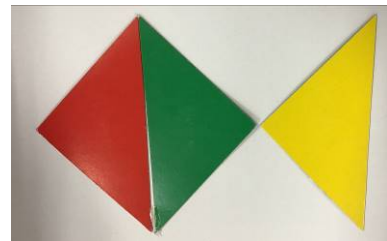
教師：色板

児童：色板

## 2 学習のしかた

(1) 教師が黒板に色板を組み合わせてつくったものが何かを答える。

例：魚 家 風車 ヨット など



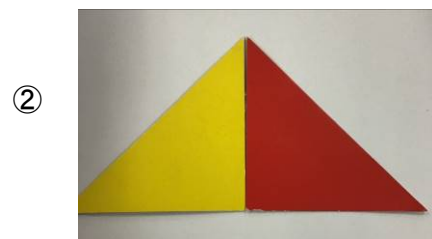
【色板を組み合わせてつくった例】

(2) 教師が作った形を真似してつくり、色板の組み合わせ方によって形が変わること気づく。

① 三角の長いところ（斜辺）を組み合わせると四角になる。



② 三角の短いところを組み合わせると大きい三角になる。



③ 三角を4つ組み合わせると大きい四角になる。



(3) 子ども自身が作りたいものを色板で組み合わせてつくる。

(4) 発表の場面を設け、発表の際には教師用の色板を使って黒板につくらせたり、タブレットを使ったりしてつくったものや考えを共有する。

### 3 学習上の留意点

- ・教師が並べた形を真似してつくるときは、色板の色は同じでなくてよい。
- ・「三角のどこの部分を組み合わせたらよいのかな。」と問いかけ、つくる際に面構成を意識させながら形をつくらせる。
- ・色板の組み合わせが分からなくて戸惑っている子どもには、使う色板の枚数を限定してつくらせてもよい。

### 4 学習の効果

- ・好きなものをつくるようにすることで、意欲的に活動に取り組むことができる。
- ・友達がつくった形を見て、「それつくってみたい。」という興味がわき、それぞれでつくったものを全体で共有することができる。
- ・三角の色板の組み合わせ方によって、大きい三角や四角になることを知ることで、好きな形をつくる際に組み合わせ方のバリエーションを広げることができる。
- ・同じものをつくっても色板の組み合わせによって違う形になることを知るができる。
- ・それぞれでつくったものを共有することで、他の子の考えを知ることができる。また、教え合いをすることで、コミュニケーションをとることができる。



【好きなものの形をつくる様子】